臺灣日日新報 夕刊 一月十九日
昭和七年一月二十日 臺灣日日新報 第一万一千四百四十號 (一)

兵匪千餘牛莊に來襲 我軍包圍されて苦戰

城内數ヶ所に火災

兵匪は次いで營口に進軍

【營口十八日發電通】十八日午後四時牛老北風、青山を頭目とする兵匪千五百は牛莊を襲ひ、城内各所に放火した爲め數ヶ所に火災起り駐屯中の我○○部隊は匪賊と交戰中であるが敵は多勢の爲め包圍され苦戰中であると營口守備隊に入電があつた、次いで兵匪は營口に進軍中との急報に同隊は嚴戒中である

松尾少尉は九名を斬倒す

松尾部隊の奮戰狀況

【錦州十八日發聯合】遼西方面へ出動した松尾部隊の狀況につき十八日○○旅團司令部に入つた報告は左の如くである……

弔合戰を了へ錦州に歸る

依田○團朝陽から

【錦州十八日發電通】……

松尾少尉以下の遺骨錦州著

【錦州十八日發電通】……

廿八勇士の遺骨歸る

十八日門司に

【門司十八日發電通】……

濱松飛行聯隊の將士晴れの凱旋

九十五名滿洲から

【門司十八日發電通】滿洲に派遣し赫々たる武勳を立てた濱松飛行……

滿洲事變を轉機に方向轉換を決定

社民黨擴大中央委員會で

國家社會主義へ!

【東京十九日發電通】社會民衆黨……

大衆黨に合同提唱

反資本、反共産、反ファッショの三反主義を旗印に

【東京十九日發電通】……

山岡新關東長官
關東長官山岡萬之助氏は既報の如く二十日發令された 寫眞は自宅に於ける山岡氏(中央)

滿蒙新國家の國籍の取得を願ふ

奉天の白系露人

【奉天十八日發聯合】……

チチハル入城前に有力馬賊團を買收

馬占山勢力擴大を計る

【チチハル十八日發電通】……

軍縮會議の支那代表

顧維鈞と胡懋鏞

【南京十八日發電通】……

老北風の一團 我部隊ご激戰

【奉天十八日發電通】……

新滿蒙計畫のため軍人に劣らぬ奮闘

北寧沿線の滿鐵從業員

錦州にて……細井聯合特派員

◇…滿鐵……

◇…人員……

◇…馬賊……

◇…地獄……

對日爲替は三十七弗

前日に比べて五十仙安

【東京十九日發電通】……

臺灣軍新副官 宮内大尉

井上準之助氏 總務就任に決定

廿日の民政黨大會で

【東京十九日發電通】前藏相井上準之助氏は二十日の民政黨大會で民政黨本部總務に就任することに決定した

前藏相を先陣に遮二無二質問戰

民政黨側で畫策

【東京十九日發電通】……

人事

▲石川半三郎氏……
▲和住吉三郎氏……
▲安座上眞氏……

無絃琴

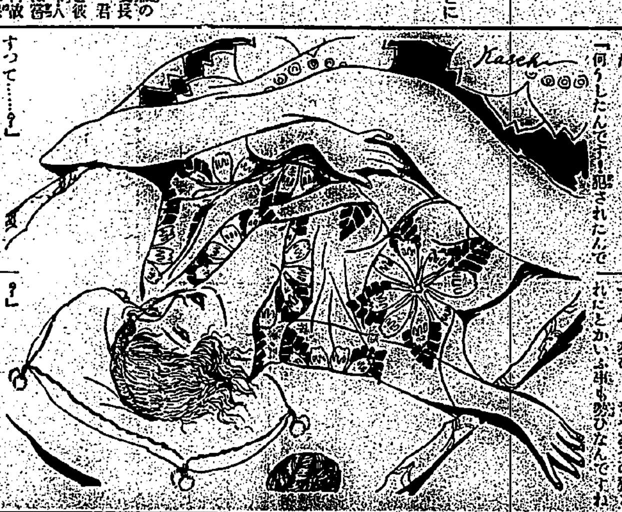
……

その日その日

……

怪女 (95)

今井泰三作 / 京極佳夕畫



……

主婦之友 第二附録 一目でわかる安産の方法
妊娠から安産までの心得
安産の心得
▲全部オフセットの二色刷にしたスバラしい別冊附録な全讀者に一冊づつ贈呈します。
▲妊娠十ヶ月間の心得……
▲此の一冊さへあれば……
▲コレだけでも一圓以上の價値があると大評判です。賣切れぬうちお求めください。
第二附録 八大美人畫家の美人畫 色紙傑作集
鏑木清方 伊東深水 山川秀峰 前田青邨 上村松園 中村大三郎 北野恒富 堂本印象
廿三日發賣 定價五十錢 東京神田駿河臺 主婦之友社

再び變形菌の新種を 聖上陛下發見遊ばさる

時局柄御多忙にも拘らず 世界學界に御發表

【東京十九日發本社特電】陛下には嘗て生物學に特別の御興味を持たせられ、宮城吹上御苑の生物學御研究室にて御餘暇にお親しみあそばされ、就ては微生物新種御發見のこと屢々あつて是等の御研究は既に學界に特記された所であるが、昨年八月那須御用邸御滞在中、附近の溫泉地谷間で御採取あそばされた數多の標本の中に再び變形菌の新種を御發見あらせられ「フイザルム・ナスエンセ」と御採取地那須を冠した新學名が附され生物學者江本義數氏により植物學雜誌に記載され、世界の學界に發表するに至つた、時局柄陛下には殊の外御繁忙にわたらせられるため近來は僅かな御閑暇を割かせられて御研究にいそしまれる御身であらせられながら世界學界に再び新種御發見の快報を寄せらるるが如きは全國民の擧げて欣快に堪へぬところであると學界では御噂申し上げてゐる

福州の大和旅館主 支那兵に襲撃さる

支那人の侮日高まる

【福州十九日發本社特電】十七日午後五時大和旅館主行元市平氏は大橋上で支那兵三名に襲撃され負傷支那人の侮日高まる

上海で邦人五名 袋叩きに遭ふ

寒詣りの途中に 二名は生命危篤

【上海十八日發電通】當地居留邦人五名が十八日午後五時頃寒詣りのため市内華徳路東華紡績附近を通行中、附近の支那人數十名に襲はれ袋叩きに遭ひ、三名負傷し附近の病院に擔ぎ込まれたが、二名は生命危篤である、我が總領事館より直ちに赴いたが取敢ず支那側に對し犯人の逮捕と厳罰を要求するに決した

四名は死期迫る

加害者逮捕されず

【上海十八日發電通】支那人から瀕死の重傷を受けた日蓮宗托鉢僧行者は後藤芳平、水神堅、天崎快晃、黒岩浅次郎、藤村那義の五名で、公安局近くに附近の洪内路佛人經營の成心病院に擔込まれ應急手當を受けてゐるが、水神は左肺部、後藤は肋骨と左腕を折られ意識不明内出血激しく、天崎外三名は今朝中に死ぬ模様である、一行は午後四時頃支那町で犯人團の襲撃を受け日本人二十餘名から袋叩きされ全身紫色に腫れ目もあてられぬ、總領事館、工部局…

芽ぐむセンダン (臺北市内スケツチ)

臺北工業學校 製作品即賣

實習作業を公開

…被害者が倒れてゐるのみで加害者は一人も逮捕出來なかつた

臺北工業學校では嘗に災厄にあひ焼失したる應用化學實習室が今回…にかかるものばかりである

上海民國日報の 社長は解雇

不敬記事問題解決

【上海十八日發電通】上海民國日報の不敬記事問題は十八日左記條件で解決した

一、市長吳鐵城は日報社長を解雇し將來の保障を與へたる上公文を以て遺憾の意を表す

一、直接責任の記者を厳重處分す

一、本件記事表題の取消及陳謝の記事を掲載す

國難會議を 二月二日に召集

三名杭州行きの用務

【南京十八日發電通】國民政府は二月一日に企て國難會議を召集し對内外の諸問題を決定することとなり孫科、何應欽、吳鐵城の三名は十八日飛行機で杭州に赴いた、右は國難會議に蔣介石、汪兆銘の出席を懇請するためで蔣は當分奉化に歸らず近く汪兆銘と共に杭州から南京に赴くものと見られてゐる

駐支英國公使が 日本に抗議

山奉線の管理は 英の權益毀損だと

個人展として は珍しい盛況

陳氏濡畝作品展

陳清汾氏の濡畝作品展覽會は愈々十九日を以て終了した、入場者七千名に及び個人展としては稀な…

天候不良で 蘇澳は大漁

漁師町の大賑ひ

繪畫泥棒の 有力な嫌疑者

今明日中には逮捕か

新竹市協議會 の期日變更

【新竹電話】新竹市通常協議會は諸般の改選のため二十七、八兩日に變更された

新竹市協議會 員の改選

近く決定發表

【新竹電話】新竹市協議會員は一月二十日が改選期であるが後藤…

翠雲畫伯が來臺

太田總督に招かれて

【東京支局特電十八日發】小室翠雲畫伯は太田總督の招きに依り昨夜出發來臺の途に上つた

木原內務部長歸州

【新竹電話】郷里へ歸省中であつた木原新竹州內務部長は十九日歸州した

在北外人團が 送別會

森前譯官の 爲めに

臺中いろはの女中 猫いらずを呷る

原因は内地の家庭 事情から

【臺中電話】臺中いろはの酌婦…十九日午前四時半頃猫いらずを呷り…

板橋信組總會

基隆三州會新年宴

【基隆電話】基隆三州會では二十五日午後五時から日本亭で新年宴會を催す

桃園信組總會

山本義信氏の名譽

取消申込

新興力士團の 旗揚興行

殴り込みの噂に力士連緊張

劉啓祥氏の 個人展

渡佛記念に 本社講堂で

三宅やす子女史逝く

十八日夜砧村の自宅で

【東京十九日發電通】女流文士三宅やす子女史は十九日午前十一時五分府下北多摩郡砧村成城の住宅地の自宅に於て心臟麻痺のため急逝した女子は明治二十三年京都に生れ本年四十三歳の働き盛りであつた…「ウーマンカレント」を五ケ年間刊行した、著書は「奔流」「燃ゆる花びら」「新嫁三宅やす子集」等である

(寫眞は逝ける三宅やす子女史)

ゼネバに直行 對策を練る

松井、永野兩全權 豫定を變更して

臺灣の蕃人を 「將來拳闘家」に

竹屋子爵の大名案

東京支局 中柳生

=安住= =意外= =國體= =國情= =蕃人=

(寫眞は竹屋子爵)

本島產柑橘の 南洋進出

將來大に有望

恤兵金品 取扱數量

九月から一月 十五日まで

印度の金本位 制採用を非難

英米煙草社長

ミシシッピー川の 新堤防決潰

花蓮港廳の 民業造林奬勵

天氣概況

各地氣温

商況

十九日

米況

正米市況

大阪期米

東京期米

神戸期米

銀塊

ウエルカム

婦人毎日新聞 愛讀者に

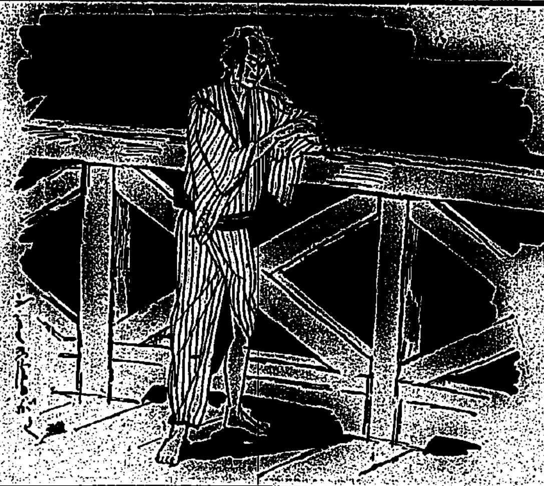
一九三二年の 婦人毎日新聞の 新運動 一、實際生活の合理化

食道樂 二鶴本店

殘月譜 (81)

志乃田廸司作
清水三重三畫

騙り名（三）



童話と童謠と舞踊（四）

童話の語り方に就いて

童話家富田淑雄
舞踊家富田俊子 夫妻の共述

讀者の皆

童話術

幼い昔の

美しい魂

巖谷小波

青春圖會

十二卷（新世界上映）

松竹蒲田特作映畫
原作 菊池寬氏（雜誌朝日連載）
監督 清水宏氏

‖役と人‖

秋田英輔	城多二郎（新人）
妹 晴美	川崎弘子
木下直子	村瀨幸子（新人）
妹 珠枝	井上雪子（新人）
父 謙三	岩田祐吉
母 春子	吉川滿子
藤村勇	日守新一
長岡	江川宇禮雄（新人）

（寫眞はその場面）

臺日案內

書籍 / 醫院 / 寫眞 / 活動寫眞は / 雜件 / 電器機具 / バイオリン / ラワン / 藥

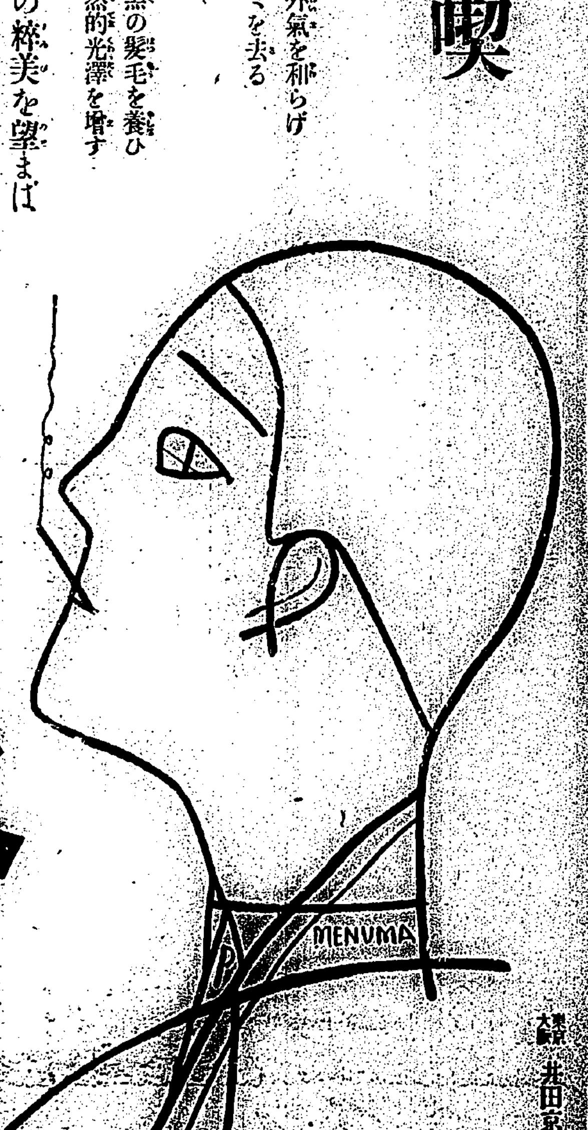
美髮滿喫

この潤ひ！
よく頭の地肌を冷して外氣を和らげフケ、拔毛を防ぎカユミを去る

この榮養！
快く毛根を刺戟して漆黑の髮毛を養ひ毛をしなやかにして自然的光澤を增す

故に 君もし黑頭整髮の粹美を望まば ほん然！ メヌマポマードの愛用に如かず

毛髮を美しくする
メヌマポマード



メヌマポマードは純良の植物油に有効適切の養毛劑と高貴の香料とを配合せる適度中性の標準的髮料にして適度の粘着性を保ち特に洗髮の時石鹼に快速に溶解する

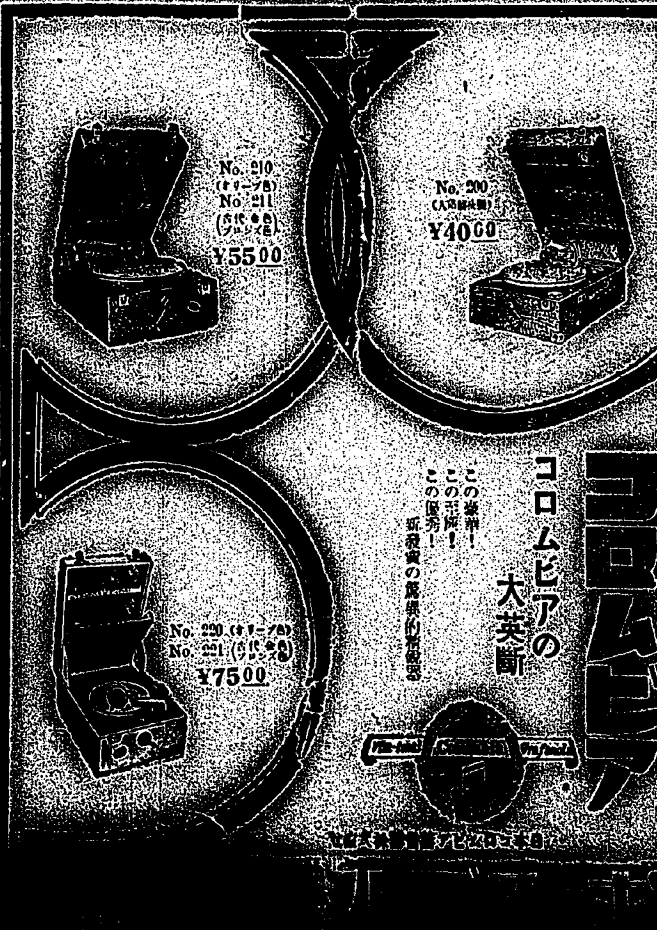
りん病 根治法
東京特許 全國專賣

マルカン酢

娚毛なき人
セイラ藥

洋服特價提供
セビロ
メルトン
オーバー
モーニング
大阪洋服學校

福壽
銘酒の盟主



コロムビアの大英斷
No.210 ¥55.00
No.200 ¥40.00
No.220 ¥75.00

漢文臺灣日日新報

井上前藏相質問順位決否
朝野兩黨所最關心
恐議會解散無意見發表機會

十九日東京電。井上前藏相質問順位決定。爲朝野兩黨所最注目。貴族院事務局決定十九日午前十一時。在院內抽籤決定質問順位。貴族院質問通告者中。有山岡爲之助。森田福市諸氏與井上前藏相。順位決定後。兩氏當然取消。井上前藏相質問。不得立前陣。恐議會解散。野黨無意見發表機會。野黨或依緊急質問形式強使井上氏將質問云。

議會解散斷行時機
一視野黨情況
一委首相處置

十八日東京電。政府議會對策。十八日閣議協議。解散勢所不免。斷行時期。或在三大臣演說直後。或在求兌換停止緊急勅令事後承諾案。滿洲事件費協贊後。一視反對黨於議場情況。反對黨如故抑壓政府。三相演說直後解散斷行。實非得已。或論不祥事件。犬養首相。且進說明。總之。其機宜處置。一視議場情況。一任犬養首相。十九日閣議。亦應協議。絕對祕密云。

井上前藏相
就民政總務

不祥事件善後。爲田法制局長官。報告懲戒委員會內容。比議人事。與中橋內相。交換意見。大體決定。且由內務省發表。零時半散會云。

十九日東京電。前藏相井上準之助氏。於二十日民政黨大會。決定就民政黨本部總務之任云。

皇后皇太后兩陛下
復賜出動將卒眞綿

十八日東京電。皇后。皇太后兩陛下。念滿洲出動部隊並中國駐屯軍。寒中戰鬪之苦。特降懿旨。重賜眞綿。荒木陸相。十八日午後一時半。入宮內省。詞候大宮御所。拜受退下。直爲設法傳遞云。

濱松飛行隊
九十五名旋

十八日門司電。橫松飛行聯隊。藤井少佐以下九十五名。既在滿洲。立有武勳。十八日朝。乘便到門司。卽望神戶而發云。

社民黨委員會決定
國家社會主義

十九日東京電。社會民衆黨。訂來十九二十兩日。開第六回大會。十八日先開擴大中央委員會。決定新運動方針。改綴易轍。謂爲此舉。乘滿洲事變機會。客秋以來赤松書記長爲中心。發爲國家社會主義。當日決定。滿場一致。黨大會。當亦可決云。

社民黨改綴易轍
提倡大衆黨合同
具體方針提倡三反主義

十九日東京電。社會民衆黨。決定改爲國家社會主義。近且向勞農大衆黨。提唱合同。其具體的方法。總同盟且提倡三反主義。卽反資本反共產反獨裁海員組合。則始終主張無條件合同。今後兩系對立。於社會民衆黨態度決定。如何作用。頗堪注目云。

平塚新長官
首途赴任

十九日東京電。新任平塚長官。十八日午後十時十五分。發東京驛。就赴任之途。途中決定參拜伊勢神宮。亂務。桃山山陵。二十日正午。合乘神戶發亞米利加丸云。

日美滙水降

十九日東京電。本日入電日美滙水。三十七弗十度比之前日。降五十仙云。

大藏省證券
分種發行

十八日東京電。據大藏省發表。政府一月十八日。借換發行豫定大藏證券二億四千萬圓中。入札發行募入額一億二千九百四十二萬圓。除此尙餘一億千五十八萬圓。決定分兩種發行。一額面七千二百五十一萬圓。日步一錢六厘一額面三千八百七萬圓。日步一錢七厘云。

定例閣議
首相病缺席

十八日東京電。十八日定例閣議。午前十一時開會。犬養首相。病不出席。高橋藏相。代宣開會。森書記官長。朗讀首相施政方針演說。諸閣僚。提出種種意見。協議決定。次議

平塚新總務長官
十八日東京出發
在神戶事務引繼

十八日東京支局特電。平塚新長官。爲罪身急遽赴任。帶同高木屬。于是夜十時十五分。出發東京驛。有關屬官內次官。其他官民百餘名送行。途中參拜伊勢、桃山。十九日抵神戶。是夜在同處。與木下前長官事務引繼。搭乘二十日出帆瑞穗丸赴任。

上海日蓮宗寒行者
被害重傷三名垂死
加害者無一人能逮捕

十八日上海電。日蓮宗托鉢寒行者。後藤芳平。水神望天崎快昇。黑岩淺次郎。藤村昇義五名。爲華人所傷。頗重。昇入公安局巡捕。附近福民醫院。應急療治。水神左肋骨。後藤肋骨左腕折。意識不明。內出血多。天崎外二名。今朝日中。或死。一行。後四時頃。在中國街。爲兒人團襲擊。

上海民國日報
不敬記事
問題解決

十八日上海電。上海民國日報。不敬記事問題。十八日解決。條件如左。一、市長吳鐵城。將日報社長革去。且保障。將來

陣亡勇士
遺骨到門司

十八日門司電。滿洲曠野。爲非特務曹長。下二十八勇士。既名譽戰死。其遺骨十八日朝以便船。運到門司。出迎特衆。各派人送之鄉里云。

彰銀總會
配當五分

彰化銀行第五十三回通常總會。訂來二十九日午前九時。開于臺中市市民館。同行本期營業成績。不及上年。故利益配當。比前年減一分爲九分配當。比回減配。爲農村繼續不況。大受影響也。

國民政府二月二日
召集國難會議
孫何諸人先赴杭請蔣汪

十八日南京電。國民政府。訂來二月二日。召集國難會議。決定內外諸問題。孫科。何應欽。吳鐵城三名。十八日乘飛行機赴杭州。卽請蔣介石。汪兆銘。出席。蔣氏暫或不歸奉化。與汪氏同由杭州來京云。

千五百兵匪襲牛莊
城內各處放火我軍苦戰

十八日營口電。十八日午後四時半。老北風。青山所屬兵匪千五百名。襲牛莊。於城內各處放火。敗處火災起。駐屯中我〇〇部隊。與匪賊交戰。爲敵衆包圍。方與苦戰。有由入營口守備隊。繼接兵匪集營口急報。該隊嚴戒云。

臺南市協議會
可決滿洲派遣軍慰問電
外論不體裁家屋處理方法

臺南市通常協議會。去十八日下午一時十分開會。先行各種報告。指名市錄署名者高島、橋木。蔡培庭三氏。次菱村市尹。就七年度豫算編成。及新規事業。互詳細說明。入議事。川崎氏。提出緊急動議。對滿洲派遣軍及遺外艦隊。以市尹名義。拍慰問電報。滿場贊成可決。旋決定起草委員三名。五年度決算。各無質問可決。續入第二號議案。七年度歲出入豫算。第一讀會。高島氏。質問安平港事業木。查。進行至何程度。市尹答。目同調查。有顧問進行中。其他施設。此後須順序考慮。橋本源太郎

雨期之北部
天候續晴
突破記錄

冬爲本島北部地方多雨。然而本年自元旦以來。天候繼續晴霽。氣溫亦高。是希有現象。臺北一月最高平均溫度。十五度六(華氏六十度)十二日。二十五度一(華氏七十七度二)。十八日午後二時。達二十五度六(華氏七十八度二)。是元旦以來最高記錄。聞是爲揚子江。發生小低氣壓。至其移動於九州方面。此陽氣應繼續。又雨量。一月八十七粍。爲臺北過去三十年間之平均。然本年至去十八日。不滿降雨四粍云。

湯地前司令官
官民送別

湯地前馬公要港部司令官官民合同送別會。由金子要港司令官。三浦街長發起。于十七日午後六時。

新莊街信組
廿日通常總會

新莊信用組合。訂本二十日午後一時起。在新莊街役場。開第十五回通常總會。本回爲理事一名。監事及信用評定委員全部任期滿了改選期云。

苗栗竹南兩郡
協議會日期

苗栗及竹南兩郡下各街庄一月中通常協議會日期如左。

▲苗栗郡 三叉庄十九日。頭屋二十日。四湖庄二十一日。通霄庄二十二日。銅鑼庄二十三日。苑裡庄二十六日。公館庄二十七日。苗栗街二十八日。

▲竹南郡 造橋庄二十三日。三灣庄二十六日。頭分庄二十五日。後龍庄二十七日。竹南庄二十九日。南庄二十八日。

臺銀發行額再增
追加申請限外發行
因農村景氣稍好轉

臺銀發行券。越年後漸縮。最近復見增加。比前年增發一成五分。而此一成五分之增發。以後果能維持與否。殊未可知。當客臘初間。發行額三千五百萬圓。與前年無大差。然于同月十三日。政友內閣出現。且發表金輸禁止。諸物價殊如米穀昂騰。時復適當丸糯移出期。出貨旺盛。買入資金之需要。

要港司令官
事務引繼

新任藤島公要港司令官。十八日午後。

港墘信組
通常總會
極模範的圓滿

東石郡港墘信用組合。去十七日午前十時。假港墘公學校會議室爲會場。開通常總會。監督官郡森安庶務課長。川崎屬。及組合員等。

上海日僑五名通行中
爲數十名華人所襲
二名危篤三名負傷

十八日上海電。當地日僑五名。十八日午後九時頃。通過路東華紡績附近時。爲附近華人數十名所襲。

在水源上流
藥魚被拘

水戶訓導夫妻葬儀
在基督教會盛大擧行

教育界犧牲者故水戶訓導夫妻葬儀。去十八日午後四時。在大稻埕前故夫妻典禮之臺北市幸町日本基督教會堂。由大場文教局長。

唐船擱淺

二年前殺人凶手
被嘉署刑事捕住

垂拱氏別墅
繪畫被竊

爲貧不能納學用品金等
被退學三四十名
庄民憤慨將糾彈惡公學校長

竹筏被風漂去
漁夫生死莫明

大屯郡下
白晝强盜

竊雞百餘隻
在市場被捕

蔗園失火
延燒約八分

基隆圖書館
週間座談
中山館長講演

理髮組合
定期總會

爲避牛車
自動車傷人

新竹
設富農會

戲臺竣工

中壢
協議日程

信組總會

豐原
協議會期

信組會期

製冰搬込

南投
省小跳梁

道路改修

臺灣日日新報
本日夕刊共十二頁
發行兼編輯人 河村徹
發行所 臺北市京町 臺灣日日新報社

●財團法人登記公告
●商業登記公告
●株式會社共榮社(變更)
●合資會社(變更)
●產業組合(設立)登記公告
臺北地方法院

一月廿一日ヨリ五日間
羽二重帶側新柄陳列會
銘仙春衣新柄陳列會
錦紗春衣新柄陳列會
羽二重丸帶新柄陳列會
◎大奉仕品 御買時ハ今御早イ
勝チ
羽二重友仙丸帶 特價四圓八十錢
名古屋帶(仕立ず) 特價二圓二十錢
◎白熱的ノ冬物割引賣
錦紗シデー一割二割三割
四割五割引
ノーブル足袋
つばりの妙藥あり
臺北市京町一丁目
藤井呉服店

理想的輸入高級酒
高級酒 黒松 白鹿
辰馬本家酒造株式會社

外科 皮膚科 一番瀨醫院 (電七八九)
內科 殿村醫院 (電話一二五四番)
外科 大場醫院 大和町四ノ二 (電話三九八〇番)
產科 婦人科 鶴田醫院 (電話三九七番)
眼科 筒井醫院 大和町四丁目 (電話一九五番)
耳鼻咽喉科 藏田醫院 (電話三八七番)
齒科 小林醫院 京町二丁目 (電話八六二番)
耳鼻咽喉科 天野醫院 (電話一二〇一番)
小兒科 關屋醫院 京町一丁目 (電話一六七三番)
內科 皮膚科 千本醫院 臺北市本町 (電話四〇八二番)
外科 菅沼醫院 本町三丁目 (電話九五四番)

いよいよ公開
三十日 午後六時半より 鐵道ホテル(會員三百五十名に限る)
三十一日 午後六時半より 樺山小學校講堂(會員五百名に限る)

一九三二年の最も幸福な生活は何から生れるか
講壇を飾る女流第一人者

婦人毎日新聞が一度ひ、實際的、合理化運動の企劃を發表しますと、これが最も時代要求にぴつたり合致したものとして

親切 迅速を社是とし、既に日本第一を誇る帝國生命保險會社は直ちに賛助に賛助して援を約され、また、その經營規模に於て、日本最大の觀がある美顏白粉本舖總合新天館も、直ちに後援を約されて、ともに、輝かしい家庭への

賛助 支援の勞を惜まれないことになつたのは、殊に本社の欣快に堪へないところであります、更に、生活合理化は、殊に女性の手に依つてなされなければならない

助力を基礎として幸福円滿、社會生活の安定へ貢献されることになつたのは喜びに堪へないことですしかも一方、支配階級、指導階級にある、現代名士のすべては、本社のこの企劃を、最も適當新時代家庭政策として

いと主張せられる國家各大家は、舉て本社の企劃を激賞せられ、續々として賛助、支援を約されて居りますが、紙與運動は、はるばる大講演會を、殊に出張せられて、第一回の大講演會を、最も意義あるものとされやうとする努力を惜しまれないのは、實に左の諸先生で、本社が深く感激して全女性とともに

感謝 に堪へない次第であります

生活研究に於ける女博士

塚本ハマ子先生 恐らく全女性が、先生のお名前を御知らない方はないであらうほどに有名なお方、明治、大正を通じて、大阪女子師範、神戸女學院、東京女學館、お茶の水女子高等師範その他に教鞭を執られ、その温かい教への下に、よき母、よき師となつて居られる方は、恐らく萬を超えるでありませう。

新時代の家庭教育の講演して下さる塚本ハマ子先生(上)モダン母性愛を話される翠川紋可女史(下)

美容美裝の麗人が示す實演

生活合理化・婦人文化大講演會プログラム

家庭教育の刷新	生活改善同盟會理事 理學博士	塚本ハマ子先生
未定	醫學博士	倉岡彦助先生
近代女性美の構成に就て	丸の內美容院長 日本マネキン倶樂部會長	山野千枝子女史
佛蘭西人內的生活に就て	王子高等女學校講師 東京洋裁講習所長	鹽澤沙河女史
生活合理化と母性愛	女性アナウンサー前雜誌「皮肉」主幹	翠川紋可女史
未定	丸の內美容院技師	小出政子女史
獨唱	聲樂家	南部タカネ女史
良妻賢母主義と近代婦人	小說家	生田葵先生
情操美と眼に就いて	醫學博士	宮原武熊先生
一九三二年の婦毎の新運動	婦人毎日新聞社社長	恒任寅男氏

主催 婦人毎日新聞社

後援
臺北市役所
臺灣日日新報社
臺南新報社
臺灣新聞社
桃谷順天館
常磐生命保險株式會社
新高製菓商會

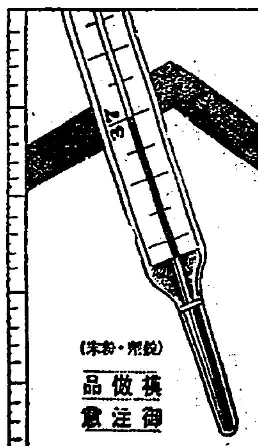
美顏白粉本舖
チウインガム本舖

會費だけのお土産 美顏白粉 お化粧箱 進呈

唯一の家庭常備藥
コドモのかぜやせきに
オイン

オイン……は 坊兒に服み易く、副用なき理想の良藥
オイン……は 最も安全で、少量でも一番ヨクキク
オイン……は かぜねつ咳に、はしか百日ぜきに、驚くべき効力あり
價 二十錢 三十錢 五十錢 一圓
各藥店にあり

結核性解熱劑
エルボン



(末粉・錠劑)
模倣品 御注意
解熱・防腐・殺菌作用顯著・結核菌の繁殖を防ぎ肺自ら治癒の力を生ぜしむ本劑は
又感冒・流感・腸チブス熱其他傳染性疾患發熱の適劑たり
7—8

神經疾患
アイチンゲン
根元的治療劑

御家庭常備の
資生堂日用石鹸
二ヶ入一箱十五錢

ジャバ、ジャヤ、チャイナ
ジャバン、ラインン(直航)(出帆)
廈門、香港
バタビヤ、爪哇 各埠行
一月二十一日午前十時
振成興產株式會社
電話七四番・七九三番

手前どもでは、どの料理にも使つて居ります……
味の素

宮內省御用達 味の素本舖 鈴木商店

亡男 儀病氣加療中の處養生不相叶昨十九日午後零時三十分死去致候に付此段謹告仕候
追て葬儀は本日午後二時自宅出棺…
昭和七年一月二十日

男 鈴木泉
兄 鈴木善七
弟 鈴木新兵衛
弟 赤津一
親戚 片寄末藏
代人 立花壽
親戚友人總代 福島縣人會
臺灣物產同業組合
西門市場舊友會
本町商和會
如水會臺北支部

廣告は宣傳の近道なり
博信社

仕事

臺灣銀行
東海自動車運輸株式會社
蘇澳花蓮港自動車
◇一號便 午前八時
◇二號便 午後零時三十分
大阪商船株式會社

本年の本島米作と食糧政策
在來米も有望　甘藷も増産せん

休會明け二十一日の議會解散は免かれず
閣議後黨出身閣僚會議を開き對議會策最後の協議

朝野各黨戰備を整ふ
政友會は二十日に定時大會を開く
現内閣並に黨としての態度方針を天下に闡明

民政黨でも大會
宣言、政策、決議を發表

無産黨の態度
大衆黨も社民黨も議會解散を要求

財政、外交演説閣議で決定
財政演説では前藏相の誤謬を指摘

藏相、外相けふ參内

首相の齒痛
蓄膿症の結果

貴族院の質問者
井上前藏相は八番目

首相、外相の演説後貴院で藏相も演説
十九日閣議で決定

解散見越て貴院は緊張味薄
緊急質問で井上氏を第一陣に送る模様

武官總督になれば阿部中將は適任
太田總督の政局觀

兵匪の主力は北方へ潰走
わが應援隊の猛攻撃に

北滿擾亂の元兇張作舟捕はる
楡樹で掃匪軍の手に

策戰の裏を搔いて紅螺山の兵匪追討
依田〇〇團の功名談

騙し討ちに遭ひ枕を列べて全滅
松尾輜重枝隊の最期

國難會議
二月一日召集

吉林、寛城兩政府妥協成る

國府の領袖連杭州に集る
毎日の様に會合

掃匪軍司令に于深兆氏

奉天山海間の列車は開通

地盤は

喧嘩

機運が

近く凱旋
小倉〇〇部隊

吳湯賞城の匪賊を撃退

地方官の異動發表

縣政に當る錦西縣知事の謂

學良派の大喜び

米國の經濟的印度進出
反英運動を機會として
ダラア汽船のボンベイ寄港

我對米回答に賛意を表す
ロンドンタイムス

臺灣教育會で理事會開催

石坂人事局長に記念品贈呈

北投陸軍用地跡の利用打合せ

湯地將軍馬公出發

後藤司令官挨拶廻り

杉本良氏臺中視察

ロータリー倶樂部週例會

辭令

督府辭令

人事

クチナシ

何處を流れて居るか 遭難船『豐漁丸』の行方
救助に向つた日向丸 空しく歸る（高雄）

【高雄電話】高雄市哨船町一丁目濱崎秋義氏所有の發動機附漁船豐漁丸二十五馬力は本月五日船長粟山春吉外四名乘込み海漁業從事のため高雄を出港したが翌六日推進器が折損流失して航行不能に陥り漂流中たまたま十日高雄に歸港中の發動機附漁船八雲丸に發見され救助を受けんとしたが波浪高く作業は意の如く運ばんので遂に遭難船の船員二名は意を決して渦巻く怒濤に飛込み辛うじて八雲丸に泳ぎつき遭難船救助の手配を續けたが風浪に妨げられて遂に作業中止のやむなきに立至り一時遭難船を現場に殘して高雄に歸港したので九日高雄から大型發動日向丸七十馬力を救助のため出港せしめ同船はブラタス島沿岸より南洋沿海を隈なく捜査したが遂に遭難船を發見する事が出來ぬので十五日空しく高雄に引返したが遭難船には未だ船長以下二名の乘組員が殘存してゐるのでその安否を憂慮され船主は十八日その筋に捜査方を願ひ出た

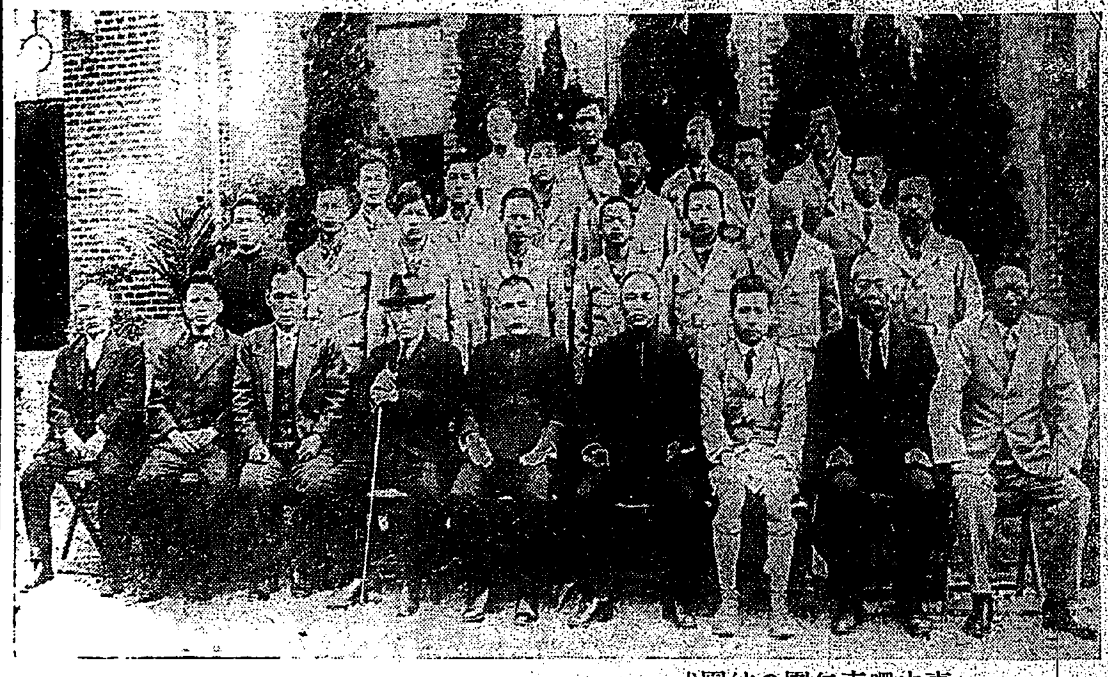
三人ぐるになつて財産横領の企て
若息子を繞つて驚くべき惡辣巧妙なる手段

盛り澤山の教育展覽會
バザーや映畫もある　廿三、四兩日…屏東に

行くくは五萬圓の學校財産に
大湖公學校の大手柄　傾斜地に見事な造林作成

他殺の疑に解剖檢視

蔴歌庄協議會　第一日開く



臺中曙青年團の結團式

新竹州の青年指導者講習會開催

愛國心のほとばしり 高雄の獻金運動
郷軍分會の手で開始

質問應答に賑つた臺南市協議會（第一日）
日程手際よく鮮やかに進行

バザーを開いて益金を慰問費に
臺南愛婦健氣な企て

港墘信組總會

內攤信組總會

岡山の聯珠大會

反對派の策動で夜通しに總會騷ぐ
散會は翌午前三時半の新記錄　彰化同志信用信合の大揉め

臺中市協議會
廿六、七兩日開催に決定

阿片密吸の發覺で懲役
四十五日を即決さる

甘蔗畑の火事
甘蔗二十萬斤を燒く

甘蔗園の火事頻々
民雄庄でも

本間廳長歸任

猴一匹で大さわぎ

市外バスも一齊 停留所制に
高雄州當局の指示　岡山、鳳山兩線は廿日より實行

南勢三峡山に人間の白骨
昨年山豚狩で行方不明になつた男？

石炭泥棒

宜蘭郡下の漁村民不漁で困窮
當局へ救濟を訴へる

蘆洲庄臺北へ

東石郡下の街庄協議會日割

關子嶺溫泉の面目を一新さす
從來の請負制度を止してサービス第一に

臺中でも行はれた故水戶訓導夫妻追悼會
十九日盛大に擧行さる

發表された嘉義市協議會員 新顏は五名

高雄エスペラント講習會

東港協議會と信組總會日割

新營

南投

中壢

人事

臺東

能高寺 佐藤カツ子儀病氣療養中... 佐藤鼎 佐藤要 深山軍 潮山三助 山下孝 信徒代表

三日間のお賽錢がザット九千圓

のお賽錢勘定が十二日午前十時から社務所奧で始まつた社務所前庭で賽錢をより別けたが五十錢銀貨が時折り目に光りを見せる許りで十四金貨も一圓紙幣も姿もなくその八割以上は一錢銅貨であつた

新興大衆文藝の使命

本山荻舟

大衆文藝の中には二つの系統がある。元來今日の大衆文藝の興つたもとは現代小說が面白くないといふ所から、歷史物を書くといふ事になり、この歷史物を書く人々をば大衆作家と稱された。しかし是等歷史物を書く人の中には、歷史をまじめに取扱ひ、史實に現代人にも共鳴の出來る解釋が加へてまじめに歷史を傳へやうといふ人達ともう一つは誰にでも受けるものといふ所に標準をおいて、自分勝手な與太を飛ばしてゐるといふ點である

……○……

如何なる人も、ふるさとをなつかしく思はない人はない。我等の歷史は我等の祖先が如何に築み、……

……○……

是等大衆作家の中には、兩面目に人生に寄與しやうといふ人もあり、それ等の人々に對しては我々も敬服して止まないのであるが、所謂、大衆作家なる人達は八十パーセントまでは俗うけ專門としてゐるのは、大衆文藝の發達上非常に遺憾な事と思ふ。歷史を利用しある時代の人物を傀儡として自分勝手のヨタをとばすといふ事はとりも直さず、自分の先祖を侮つけるものである

大衆に阿諛するといふ事は自分の魂を賣る誠に恥ずべき事と思はなければならない

……○……

今や大衆文藝は清算さるべき秋に在り、我々の新しき大衆文藝は我等の魂の中から湧き出る純潔無垢なものとなし、作家自身の人格を現はした作品が必要となつてきてゐる。俗うけ專門の作品は一時は名聲をかち得てもそれはただ瞬間的のもので決して永續的のものではない

一九三二年の大衆文藝を論ずるにあたり新興大衆文藝の使命について、いささか所見を述べた次第である

身の上相談

男が貧乏故に親が結婚を許さぬ

結婚をあせらず氣永く親を說け

女と別れなさい

金で縛られるな

又の澤山な債務

現内閣と婦選案

三婦團で代議士招待會

犬養新内閣と婦選問題の將來がどうかと云ふに大體婦選問題は犬養内閣を歡迎してゐる、……

民族詩としての俳句

寺田彌吉

屏東街の果物生產高

ウテナ コールドクリーム 花印

見ても觸つても快いお手に

荒止め美肌榮養
白粉落し濃化粧
おヒゲ剃前後に
ウテナ花印

東京本郷 久保政吉商店

不景氣をさるの歲

今年は……
景氣回復の曙光見ゆ
先づ身體の根本たる
男生殖器の強健發育を圖れ
新年劈頭の福音

◎今年は景氣回復
◎生殖器發育不全
◎エンツンデユング作用＝機能增進
◎物理作用の眞空吸引力＝發育促成
◎意外の安價で短日數間に

醫學博士十二名實驗證明推奬
各博覽會名譽大金牌受領
專賣特許 登錄商標
◇眞空水治療法器
◇包莖安全自療器

無料進呈
圖入說明書

新療法研究所

熊谷良正氏著 臺灣語之研究

明石元二郎傳

現代青年讀本 卷上 農村之卷

官衙公署 人事撮要

メートル法のかゞみ

臺灣總督府編纂 三十萬分の一 臺灣全圖

新舊對照 管轄便覽

臺灣總督府編纂 二万分一 臺灣堡圖

最新陸地測量部發行地圖 二万五千分一 臺灣地形圖

臺北州聯合同風會編纂 本島に於ける美事善行實話集

臺灣總督府編纂 五万分一 蕃地地形圖

谷河梅人譯編 閑却されたる臺灣

早川少佐著 飛行隊見學

發行所 臺北市榮町 臺灣日日新報社

南洋の日本品と邦人及支那人（三）

南洋經濟研究會　竹下康國

日用品店が兼營する物產買賣

物產買賣と云ふのは、その土地に產する土產農產物を土民から買入れて、それを多くは

支那人 に限る商賣であつて、土產品の中には輸出農產物と、地方消費農產物との二種類あり、輸出農產物を仲買して製倉の問屋に直接取引するには、相當纏つた資金と信用とがなければ出來ない。歐洲人輸出商社は支那人の問屋に資金を提供して物產の買集めをさしてゐる。そして其の問屋の下から地方の仲買人に其の金が卸つて回るが日本人にはそれだけの

組織も 連絡もないので單獨の商賣が出來ず勢ひ支那人に頼らねばならぬ不利はあるが、然し支那人として利益の勘もある

地方的 の移動があり、商人の手から土民から買つてそれを消費地に賣りに來るのである。地方消費農產物は土民から買つてそれを消費地に賣へ自身の土地に限られては居らん。かかることのみにては賣つた資金を倒さず買ひ集め得ることは、困難なるを以て農民に金融又は物品の前借をなすのである。而して其の代價物を

一種の 抵當として他人に回收さしめ自分の方に確得する方法である。この方法が一般に行はれて居るが、それにはそれ相當の資金が要るのである。此の方法は小資本にても行ふことが出來るか、大規模になすには相當の資

兼業で あるのが通例で、兼營することは頗るにも賣ふにも共に便利がある。現今邦人で仕まだ物產仲買を相當大きくして居る者でも初は日用品店が根據である

日本品を商ふものと拔けざる者

雜貨の大部分は日本商品と云ふ範圍の中に籠城するが、又日本商品を主とし、歐洲品を從とする店もあるが

實利的 には後者の方が賢明の方法である。日本人である以上日本品を賣らねばならぬと云ふ規則もないと同樣に外國商品を賣るべからずといふ理窟もないため、日本商品を目的とするもの或は日本貿易の向上發展に資せんために活動する者は別とし、苟も海外の邦人で商賣をなさんとするものは

巨細に 論なく、凡て國際的であらねばならぬ、外國で外國商品を商ひ金儲けをすることが即ち國際商業である。然るに現今南洋各地の在留邦人の營業ぶりは、餘りに割にはまり過ぎ、他になすべき商賣は多々あるにも拘らず、日本商品の全部は邦人が直接これを輸入し、賣捌くのが當然である。否さうせねばならぬのである。

他人の 商賣をすることが現今の邦人商店では雜貨類を除く外は直接邦人の手で賣捌かれてゐるのは殆んどなく、彼等は技術が拙く且つ上手であるか、自ら工夫して新經營を出すことには極めて拙劣である

日本商品は日本人自ら賣買せよ

九千萬ギルダー（邦貨七千二百萬圓）の我輸入品中、その四割以上を占めてゐる、我綿布の如きは殆ど支那人の手に委せられて居り、又陶磁器、硝子製品等の日本品が過半の勢力を有するにも係らず、その地方販賣の實權は凡て支那人の手に掌握されてゐると云ふのが

現今の狀態である

ジャワ に於ける支那人即ち華僑は、シャム王國や、馬來半島とはその性質を異にし、彼等は消費者でなく、仲買人であつて、彼等はジャワのみにても約五十五萬人を數へ、三千八百萬人の土人に比し、僅か一分五厘の少數である。然るに日本人商店はその仲買者に、ボイコットされて絶えず彼等のために脅迫されてゐるのである

支那で のボイコットは消費者から販賣者が、支那人自身であるため、日本が經濟的打擊を蒙ることの大なるは當然であるが、ジャワの如く消費者は土民であつて、支那人は唯取次人に過ぎないが、その取次人の支那人からボイコットされて販賣を遮ると云ふことは實に悲惨のことである。南洋に於ける邦人の商業であると、一般に支那人の南洋地方に於ける彼等の勢力——そして

財力は 實に恐ろしいものであることは周知のことである。か。米領フイリッピン、佛領印度支那、英領ボルネオ、蘭領ボルネオ、ジャワ、スマトラ、セレベス、ベンガル諸島など、何處に行つても彼等は一群となつて貿易に、金融に、生產に驚くほどの勢力を有し、南洋に於ける華僑の總人口は約六百萬人と云ふ點が、今後我々

日本人 は彼等支那人の勢力を打破すべき一大政策として南洋に利用發展すべき急務あることは云ふ迄もない。南洋を目指して、夢想郷の如く、直に生活の安定を得得るやうに考へるのは早計である。世界何れの處に生活難や就職難はあるのであるが南洋とても矢張り生活難や就職難はあるが、ただ働いても働いても労力に相當する報酬を與へられぬほど

行詰り の感ある日本から見れば、將來には光明があり、希望が與へられてゐることは疑ひのないことである。然し開拓者としての希望ならざる活動勞力の要あることはくれぐれも覺悟せねばならぬ（完）

昨年の本島金融界

下半期の預金著增　勸銀不動產貸付の激增

本島の金融界は目下各行共決算期を控へ月末迄には株主總會を開く事になつてゐるが昨年中の島内金融界は孰れも不況時代であつたが

多事多端な る年であつた財界の不況の結果として新規事業資金等の需要乏しく何れかと云ふと各銀行共に預金增加するに反し貸出は減少の傾向にあつた結果各行共に資金の運用に苦しみ乃至銀行へ預金するなどの現象を呈したが、若し融資の需要があつたならば各方面の資金需要が振はなかつたかを如實に物語つてゐる、要するに各行の

預金は貸出 の基礎となつてゐるのだからこの預金が貸出に廻し更に低利の資金を調達して貸出しすると云ふ時期でないと各種事業も計畫が進められない事を物語つてゐる、結局昨年の金融界を見るに右様の事情で各銀行共に預金を持餘した感がある、故に不況時代に拘らず昨年中の各銀行預金は前年のそれに比較すると五月頃から增加し下半期に至つては斷然增加してゐる、即ち

七月は前年 より九百萬圓を增加し八月では一千三百萬圓を增加し九月に於て一千五百萬圓を增加する程下半期の增加は著しいがは電力會社の工事資金の預入もあるが一般預金の增加又著しかつた結果である試に昨年一月以降各月別に前年の預金高と比較すると左の如くである（單位千圓）

預金

	昭和六年	五年
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

尚ほ十二月は目下決算中であるが貸出方面を見るに之また前年に比して著しく增加してゐる、右は不況時代に拘らず島内

重要物產の 增產又增產で自然之等に對する各銀行の放資も當然增加したわけであるが一面勸業銀行の不動產貸付が特に著增してゐる事も原因となつてゐる、要するに今日の島内貸出は各行共に未だ整理の途上にあり、從つて長期貸出から今は短期商業資金の貸出に代り北部各行共に安全地帶に向つて何れも活動してゐると云ふ狀態であるが、右

貸出を各月 別に前年と比較すると左の如くである（單位千圓）

貸出

	昭和六年	五年
一月	[illegible]	[illegible]
二月	[illegible]	[illegible]
三月	[illegible]	[illegible]
四月	[illegible]	[illegible]
五月	[illegible]	[illegible]
六月	[illegible]	[illegible]
七月	[illegible]	[illegible]
八月	[illegible]	[illegible]
九月	[illegible]	[illegible]
十月	[illegible]	[illegible]
十一月	[illegible]	[illegible]

以上にして昨年の金融界は不況時代ではあつたが何れかと云ふと多事多端なる年であつた事を如實に物語つてゐる

滿洲事變で特產物の滯貨

十五萬噸の巨額に達す

【大阪十九日發本社特電】滿洲の戰局一段落を告げ恰も特產物出廻の最盛期に當り順當なる出廻及び輸送が期待されてゐるが引揚げ不時價格のために車輛の滯貨を來し且つ一方滿洲の中樞金融機關たる官銀號及び邊業銀行が日本監理の下にあるため從來の活動から幾分制限され金融の圓滑を缺き特產物の滯貨は十五萬噸の巨額に達した、その所在別は左の如し（單位噸）

長春管內	一二、二〇〇
吉長線	一、〇七九
中東線	五九三
四洮線	一八五
瀋海線	九一七
奉ッ管內	八六
計	五〇、六八八

で十六日安紅入電によれば斯くの如き大滯貨に惱みつつある國際運輸（滿鐵別動隊）では此金融難救和手段として滿鐵の保險を得て正金より相當巨額の銀票を借入れ金融を開始したと同一方輸送助成として八月來貨車自動車を各地に輸送配置運送を開始したのでこの滯貨も近く或る程度まで緩和されるものと期待されてゐる

錦水を

始め出礦坑、新石門、牛肉崎等の發井に努力するは勿論錦水には第二ガソリンプラント及炭酸瓦斯の試みであるカーボンブラック・プラントを完成し更に輸送を廢し瓦斯の販路への鐵管を敷設、後圍、蒸口の公用場から直ちに需給する設備を完成したので唯川ガスは從來の如く空中に放散せしめず夫々之が利用の施設を完備し金々增產を期し得る事となつた事は同社の爲め將た邦家の爲め慶賀の至りである

而して 島内唯一の金礦瓜石礦山として金銅礦業は瑞芳礦山は相變依然として特に述ぶべき事もないが金瓜石礦山は前年に引續き當年は極度の銅價低落にも拘らず

製糖燃料化を目標に

瓦斯供給會社計畫

資本金百萬圓、二萬株

本島に於ける天然ガスはその包藏が莫大なるにも拘らず未だ利用の緒に就てゐないので將來之を工業用及家庭用に利用して一大事業を起さんと計畫中の松岡富雄氏先般來各方面と中央の有力者を始め實業家も多いが就中本島の天然瓦斯を供給する二社とを計畫中で一大瓦斯を整理して南部地方の製糖會社を主要なる需要者とし進んでは一般家庭にも及ぼすべく一大瓦斯會社が創立される運びとなるらしくその資本金は百萬圓總株數二萬株の內八千株を松岡氏が持ち殘余の一萬二千株を松岡氏外相果中治、後宮信太郎、赤司初太郎の諸氏その他で持つことになるとのことである

〈有望なることが確實となれば南部地方の製糖會社を主要なる需要〉獻測中であるが將し之が試掘を終つてゐるのであるから製糖會社の多い南部地方と石が持ちあるので製糖燃料のガスは製糖會社多き南部地方とみ採集がとれぬ所から牛肉崎のガスを目當にしてゐる牛肉崎は目下

本島の鑛業は石炭時代を過ぎ

金、石油、天然瓦斯へ

於鑛業會總會　小松會長演述

十八日鑛業會總會席上に於ける小松會長の昨年中に於ける本島鑛業の概況演述大要左の如し

昨年中我鑛業會の概況を述ぶるに石炭界は未曾有の不況續きで自然に採炭制限行はれ未だ正確なる

統計は 得ないが前年より之を見ると小五、六萬噸の減少を示してゐるやう、斯る事情で小坑は廢坑、休坑續出の狀態であつた、一方輸出方面では島內、其他將出共に停滯し僅かに輸出のみが增加してゐるが概數六萬噸內外の少量であり、昨年四月以降香港に於ける本島炭の輸出は殆んど閉ざされて對支の輸出も極めて狭小を見つつある

も稍好轉しつつあつたが間もなく復活し其後滿洲事變の勃發以來香港其外は殆んど輸出不可能となり一方循環炭の

侵入を 餘儀なくされ當面の打撃の外現在苦痛に近き將來に於ては島内瓦斯供給事業の勃興及日月潭水電の起工等漸く炭業界の將來に悲觀材料續出し内外の時局は極まる迄は不安の嘆を極め誠に心細く次に吾人の深く遺憾とする所は、次に石油及天然瓦斯の

隣接地 探油に於て新に金礦脈を發見し將來引續き試掘中である北投硫礦作業も不斷の努力を拂つてゐる折柄坑内開の更迭と共に金の輸出再禁止となり爲めに生產品の騰貴は今後の經營を容易ならしめ同山の將來は益々曙望さるるに至つた事は同山の爲め又國家の爲め大に祝福すべきである、石油鑛山の產額は昨年中相當增加し多少とも石炭方面の減產を補つたが結局總計に於て若干の減產となつてゐる

本島の 鑛業は石炭の全盛時代から一轉して金、銅、石油及天然瓦斯の時代に推移しつつある事が看取される、而して今は此衰の度にある石炭鑛業も此程大淦總理の云ふが如く物窮すれば必ず變じ、變ずれば必ず通ずるの道理で我國現下の社會狀態と同樣近く對支問題の解決と共に一陽來復の春を迎へるやうの機會あり一大轉機を見る事と思はれるので此際不撓不屈の苦心と一段の奮闘を切望する次第である、終りに當府の事業として

東部の 砂金採掘事業に中止してゐるが天然瓦斯の研究は續行して居ることは...

一月上旬の製糖步留低下

新營、岸内、斗六は一割四分臺

本年一月上旬中に於ける左の九工場に於ける製糖實績左の如し（十九日迄に特設課に報告された分）

△鹽水港

	壓搾高	生產高	步留
新營	[illegible]	[illegible]	[illegible]
岸內	[illegible]	[illegible]	[illegible]

△大日本

	壓搾高	生產高	步留
虎尾	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同第二	[illegible]	[illegible]	[illegible]
北港	[illegible]	[illegible]	[illegible]
斗六	[illegible]	[illegible]	[illegible]
月眉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
沙崙	[illegible]	[illegible]	[illegible]
臺東	[illegible]	[illegible]	[illegible]

即ち新營、岸內、斗六、臺東を除くの外は十二月の最高より低下し居るも是は季節風と降霜の被害を受けたる甘蔗株に海岸地方のものを努めて壓搾した結果で之等の不良原料は大抵一月中には處置せらるる苦であるからその後に至らば完全な甘蔗のみを壓搾するので步留大に向上するものとみられてゐる

溪州を殿りにして

製糖全部開始

鹽水港製糖溪州工場は十五日製糖を開始した、之により昨年十一月十九日開始の昭和製糖、玉井工場を先頭に全島四十六の工場が全部本期製糖を開始した譯である

土庫の米も西螺に劣らない

格差關係で西螺米は中部から移出

本月十二日から十八日まで臺中州下米穀檢查所所長及臺南高雄各州下米穀檢查所所長を視察した督府作田技師は語る

臺中州は一般的に米質良く喰大甲に於ける海岸地方の產米も劣るものとては見られないで...

移出米

九幡百萬袋突破

（米界片言）

基隆港灣會幹事會

港灣諸問題その他協議

基隆港灣會では十八日基隆港で幹事會を開き（一）基隆港の整備其他に關する諸項について協議したが（一）は基隆驛前用地に關する資料を港灣會の際用...

東西南北

商況

十九日

米況

臺米相場

正米市場

基隆在庫米

高雄在庫米

正米市況

大阪定期

東京定期

大阪期米

東京期米

神戶期米

各地正米

昨日の市況

株式低堅　綿絲保合　期米堅　生絲保合　砂糖保合

株況

大阪短期

大阪長期

東京短期

東京長期

糖況

肥料

大連取引所

神戶豆粕市場

綿絲

大阪綿絲

大阪棉花

橫濱生絲

魚類卸賣市場

昔日の貧者も今日の資本家
儲かるコナ石鹼製造業
月百六十圓以上の純益

名づ代
あらもの黑髮の美！
毛染には代一番安く染り一番良い

東洋音樂學校

東洋女子齒科醫學專門學校
（東京市本鄉區元町）

大戰後忽ち復活の獨乙科學界に於ける驚異的一大發明

照南丸に便乘して（四）

鬪鷄趣味の熾んな比島人

遞信部海事課員 吉開右志太

第二信

◇勝負の場

◇鷄の足に

三、イロイロ市

◇鰹魚の群

◇イロイロ

◇色調の強

匪賊襲來のため破壞された監獄

一月七日……多數の匪賊襲來し支那公安局及び支……監獄を破り放火の上囚人を逃走せしめた【寫眞は破壞された監獄と逃走……】

【中我軍に捕はれた囚人】

昭和壬申 春聯帖（四） 石上三年輯錄

臺灣龍潭社 新年歌會

JFAK 二十日

◇廣告なかだち

キノミール 安全第一な母乳代用料！ こな K―22

サック 男女防病ゴム 本邦唯一の精良品 東京銀座西三ノ二 丁子堂

建築

農林種苗便覽 無代進呈 日本種苗合資會社 東京淀橋町柏木

萬金物の卸デパート 大野合名會社

面膚髮之 ミツワ石鹼

純正雪文、以酒精溶解至透明、因無遊離脂肪、故不溷濁、又因無混雜物、故不見沈留渣滓。再用「フエノールフタレイン」細驗其遊離亞爾加里時、仍毫無反應者、正所謂純正雪文也。

我國人皮膚粗澁、皮脂分泌量亦多、尤尚黑漆毛髮之風者、當其洗滌用何雪文、切不可止因化學上謂純正雪文、立斷其適否耳。

◎ミツワ石鹼 不唯稱謂化學上純正雪文、尚具備有左列諸性狀。

一、確有溫雅芳香。

一、能生出極細泡沫、作用緩和、於洗滌時決不殘止文底碎。

一、含有適度溶解性、浸水易解、而無中途溶崩之慮。

實於各家庭、浴室用化粧用、俱合我國人用以洗滌皮膚毛髮等、最宜衛生、世可節省之理想的實用品也

◎ミツワ石鹼 有德用大形 三塊匣、六塊匣、一打匣三種

トモヱ石鹼
サクラ白粉
ミツワ家庭藥
ミツワ齒磨
ミツワ椿油
肝油ドロップス
ミツワ葡萄酒
ミツワ純良葡萄酒

發賣元 ◎ 登錄商號 丸見屋商店
藥劑・染料・石鹼・香粧品・小間物問屋
東京・兩國

對台灣廣島以各格外勉强從命敢祈直向敝商行賜顧訂購爲荷

張 合名會社 德昌商行
臺北市入船町一丁目

留置中の文山郡の目潰し强盗被疑者

眞犯人としての確證あり　近く當局で發表の模様

[illegible]

判明した被疑者の擧動

[illegible]

林阿眞は [illegible]

陳金明は [illegible]

手付金を騙取　對岸に高飛び

故郷戀しくて歸つた所を捕ふ

【高雄電話】[illegible]

中央研究所で衞生講習會

[illegible]

本社工場參觀 [illegible]

大審院の判例を檢察首腦部で破棄か

屆出前の選擧運動に關し　近く具體的方針を確定

【東京十九日發電通】[illegible]

土肥技師花蓮港へ [illegible]

興行願を提出

[illegible]

親子大臣の事務引繼

石川陸軍省監査課長（十九日來臺）

自轉車附屬品を盗んで豪遊

模範店員の惡事露顯

[illegible]

高雄商工會の來年度豫算案

【高雄電話】[illegible]

臺北市協議會

けふから三日間開催

[illegible]

市民の負擔を輕く新事業を計畫した

臺北市來年度豫算につき　内海市尹は語る

臺北市來年度豫算につき [illegible]

塵芥の [illegible]

基隆郡鑛業界活氣を呈す

【基隆電話】[illegible]

市營バス從業員の慰安會開催

[illegible]

支那の近情を聽取遊ばさる

重光公使を召されて

【東京十九日發電通】[illegible]

土地は一件も處分はせぬ

休職は無茶も甚しい　木下前長官語る

【神戸十九日發本社特電】[illegible]

土地だ [illegible]

荷物を [illegible]

内地に [illegible]

臺南州の整理

十八日に發令

【臺南電話】[illegible]

練習艦隊横須賀歸港

三月一日更に濠洲へ

【横須賀十九日發電通】[illegible]

故水戸訓導夫妻の遺骨郷里へ

[illegible]

武道會の寒稽古

二十日から十日間

[illegible]

高砂寮の寮生募集

委託經營で再開と決す

[illegible]

平塚長官赴任の途に就く

【東京十九日發電通】[illegible]

石川監査課長一行來臺

扶桑丸ニュース

[illegible]

瑞芳庄のマラリヤ防遏事務所落成式

[illegible]

故福原氏葬儀

[illegible]

野球懸賞入賞者

けふ朝刊七面で發表

[illegible]

盗まれた貴金屬現はる

[illegible]

打合せ [illegible]

大金が [illegible]

基隆飲食店組合總會

[illegible]

臺南愛市會の總會

[illegible]

野球懸賞當選發表

第一問　正解「明大勝つ」

[illegible]

第二問　正解「一本」

[illegible]

臺灣日日新報社

（特別廣告）[illegible]

漢文 臺灣日日新報

至尊關心時局特降旨

召重光公使二十一日入宮

進講最近中國事件

十九日東京電。天皇陛下。訂二十一日午後二時。召目下歸朝中重光公使。特講最近南京政府政情。及日華紛爭所關。中國對日政策之將來。十九日正式降旨。此回御講。與每木曜日。宮中御茶會。宗旨不同。即特別聽講云。

選擧相當打擊

井上氏不能立第一陣 縱能野黨亦大不利

十九日東京電。貴族院質問者順序。經已決定。重大財政問題。最期待之前藏相井上準之助氏。竟爲最後。再開日貴族院。大養首相。芳澤外相演說後。如或解散。高橋琢也氏質問。或至中止。貴族院。亦料停會解散。野黨必欲井上前藏相。立第一陣。倘順位不取消。井上氏亦無作。或依緊急質問形式。使井上氏立第一陣。亦未可知。野黨大不利。選擧戰時。不免相當打擊云。

大審院之判例要旨

檢察首腦部欲棄之

覃報前選擧運動所關

十九日東京電。解散斷行前。朝野兩黨乃會於總選擧準備。其在選擧臨視檢察首腦部。乘此機會。大審院。對選擧法第九十六條解釋。所下如左判例。一照演說或推薦狀選外運動。行之候補者立候補宣言前不違法。以上要旨。顯有破棄之大意圖。議會解散直後。檢察首腦部應令合確定其體方針。其影響所及重大云。

財政外交演說

十九日臨時閣議決定

十九日東京電。十九日臨時閣議午前十時。開於首相官邸。犬養首相缺席。高橋藏相爲議長。高橋藏相財政演說及外相外交方針演說草案。藏相將財政演說草案朗讀。求示意見。其內客關財政問題。改從來抽象的辯辭。爲實際問題。而述具體的意見。就中對金輸出再禁止。現內閣之所見幷歐前內閣當時之舊約。及其所談。指摘井上前藏相之態度有過。預定要四五十分。外交演說。芳澤外相。期讀決定。後零時半散會云。

貴族院質問者順序

井上前藏相第八番

十九日東京電。貴族院。二十一日再開。對首相。外相施政方針演說。質問通告者。十九日午前十一時。在院內抽籤決定順位如左。

一、高橋琢也（交友）
二、志水小一郎（研究）
三、石塚英藏（同和）
四、森田福市（交友）
五、加藤政之助（同成）
六、大河內輝耕（研究）
七、紀俊秀（公正）
八、井上準之助（同成）

宮內高等官

試食燕麥

東北凶作地之食物

十九日東京電。東北凶作地方農民。常食燕麥。客秋黑田侍從。奉旨觀察青森。北海道。歸京復命。獻上御覽。一木宮相。關屋次官。以下宮內高等官四十餘名。十九日正午試食。鈴木侍從長以下近侍近亦將試食云。

議對議會

黨出身閣僚

十九日東京電。政府爲議最後對議會策。臨時閣議散會後。午後一時。鶴閣僚出身閣僚會議。協議解散…

小倉部隊

近歸原駐地

十九日東京電。昨年來。在滿洲活躍中小倉○○旅團一個○隊。近擬歸原駐地小倉。決定近日中。山參謀總長得御批云。

水三月一日。合史作滿洲行云。

福原氏葬儀

濟々參列

十九日東京電。宮中顧問官貴族院議員故福原鐐二郎氏葬儀。十九日午後一時。於青山齋場舉行。朝野名士。多數參列云。

依田○團歸錦

警備西方

十八日錦州電。依田○團逐敵於朝陽方面。十八日午後二時。歸來錦州。旋因錦州以西事情不安。當警備之任。錦西方面。則以該村○團當之云。

骨埋錦州

松尾少尉以下

十八日錦州電。松尾少尉以下遺骨。安置於錦州納骨堂云。

練習艦隊

安歸橫須賀

十九日橫須賀電。練習艦隊磐手。淺間兩艦。找二百名少尉候補生。航海三月久已終。十九日午前九時三十分。安歸橫須賀。

時期。及議場內之作用。休會再開當日。解散或不免矣。

張學良一派狂喜

命榮臻調兵關外

遣使者帶三十萬圓急行

十九日天津電。張學良一派。因本邦消息。隊本部全滅。松尾少尉等陣已。雀躍狂喜。派正規兵七千於關外。同時遣使者帶三十萬圓急行云。

馬氏入齊々哈爾前

先買收有力馬賊團

十八日齊々哈爾電。據中國情報。馬占山擴大勢力。方與省城各處潛入便衣隊連絡賊團。馬氏入城。想在今後五日以內云。

北滿攪亂元兇張作舟

昨夜爲掃匪軍所擒

十九日長春聯合電。北滿攪亂元兇張作舟。因掃匪軍不意出擊搜之際。竟成擒云。

應援隊牛莊

攻兵匪主力 潰走北方

十九日奉天電。十八日夕兵匪與牛莊。與我守備隊衝突。急報一接。○○聯隊山沙嶺○○聯隊。山海城十九日拂曉連絡。追牛莊附近。猛攻兵匪主力。使之潰走北方云。

臺灣軍副官

決定宮內大尉

原田前臺灣軍副官。參謀本部副官。補其後者決定宮內前第四師團副官隨阿部軍司令官一同赴任云。

臺南州下

霜害對策

藉大圳通水

臺南州下縱貫線以西。前頃之霜害。以甘蔗爲最巨。關此對策。州當局及製糖會社。正爲考究方法。且豫料以後再有發生此害。其唯一豫防法。須藉嘉南大圳通水。各郡經有此要求。然同組合。以此際欲將組合機能。俾一般周知當然應其所望。第因水路幹線內面溝。一部修理中其他有不得已事情。故終不能全部應承。唯對工事無阻礙之一部。容後通水一面同修理工事。豫定二…

花蓮廳獎勵

民營造林

花蓮港廳山林係。自昨秋對廳下民業造林者。以獎勵目的。對實施者。交付施行費。約五十通。不日申請願書。約五十通。同係現忙于調查中。該栽植面積各約百甲云。

月末竣工者。亦將從速進行以應之。此等關係。在被害輕微之地方。于回復上。有相當效果。而組合員亦爲期待。

竹市協議會

期日變更

並改選議員

新竹市通常協議會期日。因議員改選。變更二十七八兩日。又市協議會員。于二月二十日改選期。桑原。小林。垣田三氏補缺及有二、三更換。待內務部長歸州。決定發表云。

嘉郡下各庄

協議會日程

嘉義郡下各庄。本年度豫算編成。豫定依左記日程開協議會。

一月二十日竹崎庄。二十一日溪口庄。二十三日大林庄。二十五日番路庄。二十六日民雄庄。二十七日新巷庄。二十八日水上庄。二十九日小梅大埔兩庄云。

久閉鎖之高砂寮

決定再開募集寮生

委託張福興氏經營

陶東淺火災後新改築之高砂寮。堂皇軒廠。設備亦佳。其旨趣不外。欲圖本島人留學生之便。不意其後以種々事故。自昭和五年十一月閉鎖。其後分出存廢兩派議論。去年夏季台由府文教局。廣徵本島人有識者意見。除一二而外。殆百分之百。贊成存…

封入郵便切手二錢。向同寮事務取扱者申請。張氏爲東京音樂學校出身者。畢業後。多年在本島從事育英。爲人圓滿。且能了解新時代精神。自言同寮之經營不易。固出於覺悟此後爲臺灣計。務欲以至誠從事。寮生即家族。餘非所計也。

時 評

○議會解散。勢似難免。朝野兩黨。方汲々然講究對策。今也。安達選擧大明神。已不在野黨中。井上財神代之。果有勝算否。尚有疑問。

○滿蒙新建國。于真諸人。熱心從事。不難成矣。然安得其人而奉之。蔣中正。汪精衛。…

臺北工業學校

實習作業公開

製作品即賣

臺北工業學校。爲應用化學實習室。被燒失。今已新築竣功。乘此機會。欲普及一般工業知識。豫定來二十二日起三日間。每日自午前八時至下午五時。以各科實習作業。供一般觀覽。又製作品。亦行即賣。而市營乘合車。則決定欲增發車數云。

新營自動車商會成立

廿日合併引繼

屏東街協

先開磋商會

竹山軌道問題

圓滿解決

蘇澳各漁船盛獲

斯業者景氣甚佳

舊曆年關綽有餘裕

臺北州下蘇澳方面。爲天候不順。漁獲不振。然于舊曆年關。如最近甚盛獲。其漁船皆大獲利。…

痲病防遏所

舉落成式

新興都市之高雄

創設自働式電話

按二月一日開通

基隆市

公開映畫

林田尋常小學校

銃器二挺被盜

犯人經支廳員逮捕

火燒蔗園

臺北工業學校

福州行元氏

被中國兵襲擊負傷

新竹市理髮

組合總會

南州各郡下

甘蔗霜害

不下百萬圓

漁船顛覆

發見溺屍

畜産加工講習

少女剃取

幼兒耳鈎

村火兩誌

騙局翻新

拘審二共謀者

竊取繪畫賊

嫌疑者某

不日應逮捕

覇拘廿九天

捕竊雞賊

東石

協議會期

出演預選

頭髮藥 令少女低頭

廣告